

旧齋藤邸の概要

旧齋藤邸は、主屋・離れ・竹林・竹紙房などからなる、敷地面積約 5,500 m²の古民家です。主屋は明治 34 年（1901 年）に建てられ、大学教授だった故・齋藤雄三氏が買い取った後は主屋の増築や庭の整備が行われ、平成 10 年（1998 年）に妻の故・齋藤トシ様から松戸市へ寄附されました。

主屋は茅葺屋根を有し、紙敷地区の典型的な農家の建築様式を踏襲しつつ、随所に近代和風建築の要素が加わっています。平成 29 年（2017 年）には、古くから地域の景観を今に伝えるものと評価され、国の登録有形文化財（建造物）となっています。

現在は、生涯学習の場として、個人でも団体でも利用・見学ができます。また、竹紙房では竹林の竹を使用した竹紙すきの体験ができます。

予約・お問合せ

電話：047-382-5570 FAX:047-384-8194

松戸市教育委員会 文化財保存活用課

〒270-2252 松戸市千駄堀671

案内図 東松戸駅から徒歩約 13 分



旧齋藤邸所在地：松戸市紙敷 588

※駐車台数には限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。

国の登録有形文化財（建造物）

旧齋藤邸



利用案内

■利用可能日（火曜日～土曜日）
10時から12時、13時から16時
（最終入場 15時30分）

■利用不可日
・月曜日、日曜日、祝日及び年末年始
（12/28～1/4）

■利用方法

※詳細はホームページをご確認ください。

・見学：無料（10名以上は要予約）
・竹紙すき体験：無料（予約制）



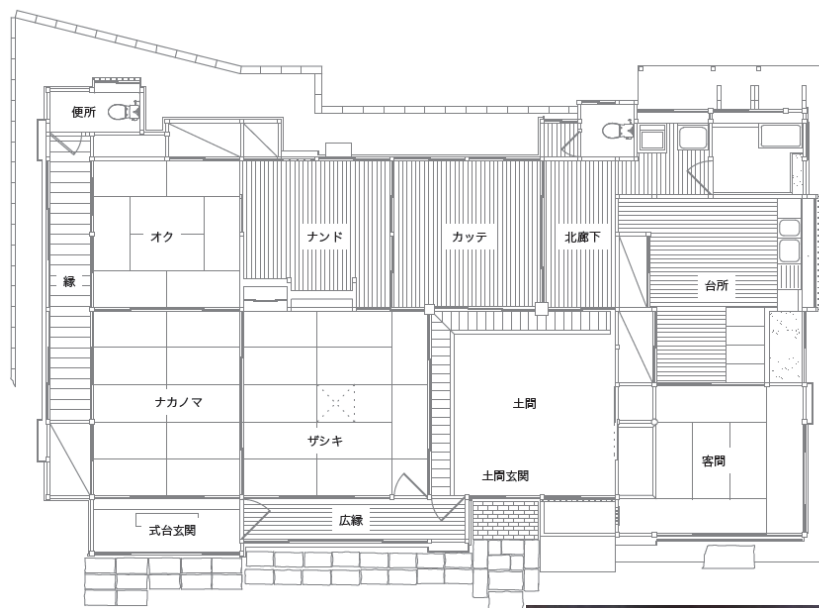
電話：047-382-5570

メール：mcbunkazai@city.matsudo.co.jp

■駐車場

・5台程度（表門の反対側に有り）
※台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

旧齋藤邸（主屋）見取り図



ちくし 竹紙ができるまで



①初夏、その年の若竹をチップにします。



②早く腐らせるために石灰水に漬けます。（1年以上!）



④ミキサーにかけた繊維を水に溶かせばいいよ紙すきです。



③鍋で煮て白でつくと繊維が残ります。



⑤数日間陰干しすれば完成!

旧齋藤邸 花暦

※見頃の時期は年によって変わります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ウメ												
ツバキ												
スイセン												
ハナモモ												
コバシ												
オニユズ												
シャラ												
アジサイ												
サルズベリ												
フヨウ												
キンモクセイ												
ギンモクセイ												
ススキ												

ちくし 竹紙ってなに？

竹紙は竹の繊維を原料にした中国発祥の紙です。旧齋藤邸の北側には広大な竹林が広がっており、竹林の竹を使って竹紙作りを行っています。旧齋藤邸では無料で紙すきの体験ができますので、お越しの際には体験してみたいかがでしょうか？（体験ご希望の場合は事前予約をお願いします。）



竹林

※旧齋藤邸は、郷土遺産基金（皆様の寄附金）により、維持・活用しております。